



BOM for Windows Ver.7.0
監視テンプレート個別注意事項

第1章 本書について

1. 表記
2. 使用上のご注意

第2章 新規追加テンプレート

- 2021/12/22 公開

第3章 既存テンプレート

1. 標準構成テンプレート
 - Windows システム監視 Basic (ローカル監視用)
 - Nano Server システム監視
2. レポートテンプレート
 - Windows サーバー診断レポートV2レポート用
 - Windows サーバー診断レポートV3レポート用
 - Hyper-Vレポート用
 - Arcserve UDPv6ログ取得レポート用
 - セキュリティログレポート用
 - VMware レポート用
 - Linuxサーバー診断レポートV2レポート用
3. Windows 基本
 - EV自動復旧機能
4. Windows オプション
 - WSUS監視
5. ハードウェア
6. データベース サーバー
 - SQL Server 2008
 - SQL Server 2012
 - SQL Server 2014
 - SQL Server 2016
 - SQL Server 2017 (Windows版)
 - SQL Server 2019 (Windows版)
7. メール サーバー
8. Web サーバー
 - Internet Information Services 8.5
 - Internet Information Services 10.0
9. アプリケーション サーバー
10. バックアップ ソフト
 - Arcserve Backup r17 & r17.5
 - Arcserve UDP v6 & v6.5
 - Arcserve UDP v7
 - Arcserve RHA 18.0
 - ActiveImage Protector 2018 -RE
 - ActiveImage Protector 2018 ServerEdition
 - Windows Server Backup 監視
11. ウイルス対策 ソフト
12. 運用管理ソフト
13. グループウェア
14. オペレーションパターン

朝監視用設定

15. BOMカスタム監視補助

16. Windows その他

17. Linux 標準構成テンプレート

18. Linux 基本

Linux ディスク監視

19. Linux アプリケーション

20. Linux ウイルス対策 ソフト

21. VMware 標準構成テンプレート

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証（商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません）もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず、決して複製・配布してはなりません。

商標

文中の社名、製品名、サービス名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

なお、本文および図表中では「™ (Trademark)」、「® (Registered Trademark)」を明記しておりません。

第1章 本書について

本書では、BOM for Windows Ver.7.0 SR4 に同梱された監視テンプレートをベースとして、BOM for Windows Ver.7.0 に対応する各監視テンプレートについて、個別の注意事項が存在するものをまとめています。

これらの注意事項は BOM for Windows Ver.7.0 の「テンプレートのインポート」画面で、プレビュー欄に表示されるものと同等の内容です。

1. 表記

本書では、製品、サービス名について以下の略称を使用する場合があります。

| 製品・サービス名 | 本書での略称 |
|-------------------------|---------|
| BOM for Windows Ver.7.0 | BOM 7.0 |

2. 使用上のご注意

- 監視テンプレートの適用方法については、製品同梱の 'BOMW7.0-ユーザズマニュアル.pdf' や、ダウンロードしたアーカイブに含まれる readme.txt などを参照してください。

第2章 新規追加テンプレート

■ 2021/12/22 公開

ハードウェア

- **NEC ESMPRO ServerManager 7.0 監視テンプレート**
 - 個別の注意事項はありません。
- **NEC ESMPRO ServerAgent Service 2.3 監視テンプレート**
 - 個別の注意事項はありません。

第3章 既存テンプレート

1. 標準構成テンプレート

Windows システム監視 Basic (ローカル監視用)

- 本監視テンプレートは代理監視インスタンスに適用できません。自立 (ローカル) 監視で使用してください。

Nano Server システム監視

- 本監視テンプレートは Nano Server システムを対象とした代理監視専用です。本監視テンプレートのご使用にあたっては、監視元となる Windows コンピューターの BOM 7.0 で、Nano Server を監視先に設定した代理監視インスタンスが設定出来ている必要があります。

2. レポートテンプレート

Windows サーバー診断レポートV2レポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。

Windows サーバー診断レポートV3レポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。
- 「システムログ監視」「アプリケーションログ監視」では、しきい値として通常許容されない「0件より小さい」が設定されているため、プロパティの「しきい値」タブを表示すると適切な値の入力を促すダイアログが表示されます。この際は [OK] → [キャンセル] とクリックして、プロパティを一度閉じてください。

Hyper-Vレポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。

Arcserve UDPv6ログ取得レポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。

セキュリティログレポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。

VMware レポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。
- 「VMware イベント監視」「vCenter ログ監視」では、しきい値として通常許容されない「0件より小さい」が設定されているため、プロパティの「しきい値」タブを表示すると適切な値の入力を促すダイアログが表示されます。この際は [OK] → [キャンセル] とクリックして、プロパティを一度閉じてください。
- 監視項目「vCenter ログ監視」を使用する際は、プロパティで「有効」にチェックを入れ、「接続先」タブで「vCenterサーバー」のユーザーとパスワードを登録する必要があります。

Linuxサーバー診断レポートV2レポート用

- 本監視項目はレポート向けのログ収集用のため、しきい値は監視向けに構成されていません。

3. Windows 基本

EV自動復旧機能

- BOM 7.0 はイベントログ監視の監視開始位置管理のためイベントログの EventRecordID を記録していますが、この値がまれにシステムの想定外の動作によって異常値となり、イベントログ監視が正常に実行されないことがあります。
本テンプレートを導入することにより、この異常の検知と、正常なEventRecordIDへの復旧を自動的に行うことができます。
- 本監視テンプレートの内容は BOM 7.0 (SR2 以降) 同梱の「Windows システム監視 Basic (ローカル監視)」テンプレートにも含まれており、すでにこのテンプレートを適用済みの場合、本テンプレートのインポートは不要です。
- 本監視テンプレートは、各インスタンスについて一度適用するだけで、同一インスタンス内のすべてのイベントログ監視に有効です。
- 本監視テンプレートは代理監視インスタンスに適用できません。自立 (ローカル) 監視で使用してください。

4. Windows オプション

WSUS監視

- 本監視テンプレートは、テクニカルライター 山市 良 氏の著作「WSUS 正常性監視のポイント - Windows 10 時代の重要インフラ WSUS、安定運用の勘所」に沿った内容となっており、このテンプレートを利用することで WSUS の監視ポイントである「ネットワーク使用帯域」、「サービスの正常性」、「ディスク使用率」の情報が取得できます。

設定内容の根拠や詳細については、本テンプレートが基にした以下のドキュメントを参照してください。

- WSUS 正常性監視のポイント - Windows 10 時代の重要インフラ WSUS、安定運用の勘所 (PDF)
<https://www2.say-tech.co.jp/hubfs/download-sales/yamaichi/WSUS正常性監視のポイント.pdf>

- ディスク使用率に応じてクリーンアップタスクを実施する「WSUSクリーンアップタスク」アクションが「WsusContentフォルダー監視」に設定されています。初期値は「無効」となっていますので、必要に応じて「有効」に設定してください。
- 「WSUSクリーンアップタスク」アクションを動作させる際は、事前に PowerShell を開いて以下のコマンドラインを一度だけ実行する必要があります。

```
PS >New-EventLog -LogName Application -Source "WSUS Cleanup Task"
```

- 本監視テンプレートは、Windows Server 2019, Windows Server 2016, Windows Server 2012R2に対応しています。
- 本監視テンプレートは代理監視インスタンスに適用できません。自立 (ローカル) 監視で使用してください。

5. ハードウェア

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

6. データベース サーバー

SQL Server 2008

- 本監視項目中、(MSSQLSERVER) とあるのは既定インスタンス名を示しています。名前付きインスタンスの場合にはインスタンス名を変更してください。

SQL Server 2012

- 本監視項目中、(MSSQLSERVER) とあるのは既定インスタンス名を示しています。名前付きインスタンスの場合にはインスタンス名を変更してください。

SQL Server 2014

- 本監視項目中、(MSSQLSERVER) とあるのは既定インスタンス名を示しています。名前付きインスタンスの場合にはインスタンス名を変更してください。

SQL Server 2016

- 本監視項目中、(MSSQLSERVER) とあるのは既定インスタンス名を示しています。名前付きインスタンスの場合にはインスタンス名を変更してください。

SQL Server 2017 (Windows版)

- 本監視項目中、(MSSQLSERVER) とあるのは既定インスタンス名を示しています。名前付きインスタンスの場合にはインスタンス名を変更してください。

SQL Server 2019 (Windows版)

- 本監視項目中、(MSSQLSERVER) とあるのは既定インスタンス名を示しています。名前付きインスタンスの場合にはインスタンス名を変更してください。

7. メール サーバー

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

8. Web サーバー

Internet Information Services 8.5

- Microsoft FTP Service 監視は、Microsoft FTP Service が IIS 8.5 の標準でインストールされないため「無効」になっています。FTPサーバーを使用する場合は本監視の設定を「有効」にしてください。
- W3C Logging Service 監視は、W3C Logging Service の既定の設定が「手動・停止状態」のため「無効」となっています。W3C Logging Serviceを実行する場合は本監視の設定を「有効」にしてください。

Internet Information Services 10.0

- Microsoft FTP Service 監視は、Microsoft FTP Service が IIS 10.0 の標準でインストールされないため「無効」になっています。FTPサーバーを使用する場合は本監視の設定を「有効」にしてください。
- W3C Logging Service 監視は、W3C Logging Service の既定の設定が「手動・停止状態」のため「無効」となっています。W3C Logging Serviceを実行する場合は本監視の設定を「有効」にしてください。

9. アプリケーション サーバー

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

10. バックアップ ソフト

Arcserve Backup r17 & r17.5

- 監視項目「バックアップ正常性監視」は、Arcserve Backup によるバックアップ処理が正常に完了した際にイベントログへ出力されるメッセージを、7日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが1件も存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。

当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、長期間バックアップが正常に終了していない事を通知できます。

Arcserve UDP v6 & v6.5

- 本監視テンプレートと、監視テンプレート「Windows システム監視 Basic」の「ログ監視」を併用することで、Arcserve UDP の異常を監視することが可能です。
- 監視項目「バックアップ正常性監視」は、Arcserve UDP によるバックアップ処理が正常に完了した際にイベントログへ出力されるメッセージを7日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが1件も存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。
当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、長期間バックアップが正常に終了していない事を通知できます。
- 監視項目「バックアップ正常性監視」を実行する際は、Arcserve UDP のアクティビティ ログを Windows のイベントログに登録する設定が行われている必要があります。本設定の詳細については arcserve 社の技術資料を参照して下さい。

Arcserve UDP v7

- 本監視テンプレートと、監視テンプレート「Windows システム監視 Basic」の「ログ監視」を併用することで、Arcserve UDP の異常を監視することが可能です。
- 監視項目「バックアップ正常性監視」は、Arcserve UDP によるバックアップ処理が正常に開始した際にイベントログへ出力されるメッセージを7日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが1件も存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。
当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、長期間バックアップが正常に終了していない事を通知できます。
- 監視項目「バックアップ正常性監視」を実行する際は、Arcserve UDP のアクティビティ ログを Windows のイベントログに登録する設定が行われている必要があります。本設定の詳細については arcserve 社の技術資料を参照して下さい。

Arcserve RHA 18.0

- 監視項目「Arcserve RHA エンジン 重大/エラー/警告ログ監視」を実行する際は、あらかじめ Arcserve RHA のイベント通知設定で「イベントログへの書き込み」を「オン」に設定してください。
- 監視項目「Arcserve RHA エンジン 正常性監視」は、Arcserve RHA によるバックアップ処理が正常に完了した際にテキストログへ出力されるメッセージを1日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが48件存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。そのため、初回監視は必ず危険ステータスになります。初回ステータスは無視してください。
なお、本メッセージの件数は構成によって変化しますので、使用される環境に合わせたしきい値に設定してください。
- 当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、バックアップが正常に終了していない事を通知できます。

ActiveImage Protector 2018 -RE

- 監視項目「バックアップ正常性監視」は、ActiveImage Protector 2018 -RE によるバックアップ処理が正常に完了した際にイベントログへ出力されるメッセージを7日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが1件も存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。そのため、初回監視は必ず危険ステータスになります。初回ステータスは無視してください。

なお、本メッセージの件数は構成によって変化しますので、使用される環境に合わせたしきい値に設定してください。

- 当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、長期間バックアップが正常に終了していない事を通知できます。

ActiveImage Protector 2018 ServerEditon

- 監視項目「バックアップ正常性監視」は、ActiveImage Protector 2018 ServerEditon によるバックアップ処理が正常に完了した際にイベントログへ出力されるメッセージを7日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが1件も存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。そのため、初回監視は必ず危険ステータスになります。初回ステータスは無視してください。

なお、本メッセージの件数は構成によって変化しますので、使用される環境に合わせたしきい値に設定してください。

- 当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、長期間バックアップが正常に終了していない事を通知できます。

Windows Server Backup 監視

- 監視項目「Windows Backup 正常性監視」は、Windows Server Backup によるバックアップ処理が正常に開始した際にイベントログへ出力されるメッセージを7日に1度の間隔で監視し、該当のメッセージが1件も存在しなかった場合はステータスが「危険」になるよう設定されています。
- 当監視項目にメール通知アクション等を追加することで、長期間バックアップが正常に終了していない事を通知できます。

11. ウイルス対策 ソフト

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

12. 運用管理ソフト

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

13. グループウェア

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

14. オペレーションパターン

朝監視用設定

- 本監視テンプレートは朝監視用の監視設定です。使用方法の詳細は、製品DVD同梱の 'BOMW7.0-朝監視設定ガイド.pdf' を参照してください。
- 本監視テンプレートで朝監視を使用する際は、メール送信の設定が必要です。

15. BOMカスタム監視補助

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

16. Windows その他

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

17. Linux 標準構成テンプレート

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

18. Linux 基本

Linux ディスク監視

- 環境に応じて監視対象を変更してください

19. Linux アプリケーション

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

20. Linux ウイルス対策 ソフト

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

21. VMware 標準構成テンプレート

個別注意事項のある監視テンプレートはありません。

初版：2021年7月9日

更新：2021年12月21日

作成：セイ・テクノロジーズ株式会社

© 2021 SAY Technologies, Inc.